

Title	組織における合理性と非合理性に関する考察
Sub Title	
Author	今井, 裕紀(Imai, Hironori) 渡辺, 直登(Watanabe, Naotaka)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2012
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2012年度経営学 第2730号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002012-2730

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程

学位論文（ 2012 年度）

論文題名

組織における合理性と非合理性に関する考察

主 査	渡辺 直登
副 査	浅川 和宏
副 査	大林 厚臣
副 査	

2013 年 2 月 28 日 提出

学籍番号	81130179	氏 名	今井 裕紀
------	----------	-----	-------

論文要旨

所属ゼミ	渡辺直登研究会	学籍番号	81130179	氏名	今井 裕紀
組織における合理性と非合理性に関する考察					
<p>本論文は第 1 部において理論的事項に関する研究を行い、第 2 部において事例研究を行った。</p> <p>第 1 部においては、まず初めにウェーバー(1956)の官僚制論を中心とする組織分析の枠組みを検討した。ここでは官僚制的合法的支配モデル、伝統的支配モデル、カリスマ的支配モデルの 3 つの組織原理の特徴が検討された。その次にルーマン(1964)の社会システム理論を参照して、社会システムのサブ・システムとしての公式組織に関する理論的枠組みを検討した。最後にフロイトの精神分析理論を応用した、精神分析的組織行動論の理論的枠組みを検討した。</p> <p>第 2 部においては第 1 章において事例を記述した。事例は 2011 年に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故をめぐる首相官邸の対応である。第 2 章においては、第 1 部で検討された理論的枠組みに基づいて、第 2 部 1 章で記述された事例の分析を行った。</p>					